

近所のお兄さんやお姉さんが弾いているピアノ（「乙女の祈り」パダジェフスカ作曲）を聴いて、私は「ピアノをやりたい」と言い出したようです。4歳の頃のことで、遠い遠い昔のことで覚えていませんが…。私の父母は「一生音楽を続けるなら、ピアノを買ってあげる」という条件を出したそうです。続けるかどうかなど4歳の私が考えるはずもなく、「絶対続ける」と約束をして私はピアノを始めることになりました。振り返ってみると、約束を果たそうという強い思いではなく、ピアノを弾けるようになることが楽しくて音楽が好きになったり、大好きなピアノを弾くと家族や友達が喜んでくれたりして、ただただそのことがうれしかったかなと思います。だから「もっと上手になりたい」「もっとこんな曲を弾きたい」と思うようになり、たくさんの曲に挑戦することができました。そして、その延長線上に「たくさんの子供たちと楽しい音楽をしたい」と音楽の教師という職業までたどり着きました。

「なりたい自分」は、案外身近にあるものかもしれません。「できる」「できない」ではなく、「こんなことやってみたい」と思ったことは、まずはやってみる。「やってみたい」という思いが強ければ、一步を踏み出してみましよう。まずは「やってみたい」を「やってみた」に進め、いろいろなことにチャレンジする夏休みにしてほしいと思います。

雨も吹き飛ばした1年生のパワー！ 成長を実感した「自然教室」でした

自然教室が予定されていた期間の天気予報は雨マークばかり。てるてる坊主は教室にあるものの半ばあきらめかけていた天気でした。しかし、6月26日（月）から始まった2泊3日の自然教室は、ほとんど雨が降ることなく「野外調理」「天体観測」「カッター教室」「キャンプファイヤー」などたくさんの活動ができました。なかでも、海の中道青少年海の家だからこその活動である「カッター教室」（上写真）ができたことは、学級が一つになることの大切さを実感できた貴重な経験となりました。さらに、自然教室で学んだことを次につなげていこうと事後の取組も充実していました。



「なりたい自分」を見つけたい！ 目指したい！ ～2年生職場体験学習、3年生高校一日体験～



6月27日（火）、28日（水）の2日間、2年生は28の事業所にご協力をいただき4年ぶりの職場体験学習を行いました。また、3年生は4つの高校に分かれ高校一日体験を行いました。それぞれの体験学習は、自分の未来や生き方を考えるきっかけとなるものです。2日間の体験学習後の学習では、「やりがいをもって仕事をしていることがカッコいいと思った」や「高校を選択していくための視野が広がった」など前向きな感想がたくさんありました。実際に「見る」「聞く」「触れる」「感じる」ことなどによって、今ある「なりたい自分」に近づくための推進力に



平和を考える大切な時間となりました

なったり「なりたい自分」を見つけるためのヒントとなったりすることが改めてわかった学習でした。

7月12日（水）に1、2年生で平和学習と人権学習を行いました。1年生は第二次世界大戦中の日本の子供たちの厳しい日常をたくさんの資料や写真から知ることができました。2年生は「アオギリの木」という資料を読み、広島原爆投下によって被ばくした主人公の気持ちをたどりながら、自分が平和な世界を築くためにどう行動したいかを考える時間となりました。ぜひ夏休みに「平和」について家族で話す機会をもってもらいたいです。

